

R4女性活躍井戸端会議 模擬議会

令和4年10月27日（木）箕輪町役場議場にて、箕輪町女性活躍井戸端会議による模擬議会が開催されました。議員の体験を通して、多くの方に政策方針、意思決定の場への若者・女性参画の重要性を感じてもらったり、多世代に議会を身近に感じてもらうことが目的です。



議長：竹内さん
副議長：浦野さん
井戸端会議メンバーから
設定しました



若者・女性が多い議会をイ
メージできる議場でした



質問に応じ答弁
する
白鳥町長



小幡さん

1. 箕輪町の情報発信について

- ・振興計画の達成に向けて成果が住民に伝わっていない。情報発信の方法や頻度に課題がないか。
- ・現在の情報発信について住民は興味や関心を示しているか。
- ・みのわメイトのアンケート機能など有効利用を。

2. 町会議員及び区会議員について

- ・女性が少なく、高齢化も進み、町政に女性や若者の意見が十分に反映できていないのでは。

（答弁要旨）

- 行政施策の実施結果は伝えているが、成果を町民に知らせるのは難しい。様々な手段を活用し情報発信に努める。
- 情報の内容に応じて適切な発信方法を活用する。
- みのわメイトの活用は良いアイデア。意見聴取の方法として取り組む。
- 地域づくりに女性の参画が必要で依頼はしている。消費、健康長寿などに女性の力を発揮してほしい。

1. 保育料負担軽減について

箕輪町も多くの少子化施策がある中、近隣自治体では3歳未満児の保育料が県下最低レベルに引き下げや、第3子以降の保育料は無料の自治体もありますが町の考えは。

2. 「新しい生活様式」が推奨されマスク着用が習慣化して3年経ちます。マスク着用は感染予防にはならないと科学根拠に基づいた見解もあり、WHO、ユニセフ、日本小児科医会からも声明が出ている。町内保育園・学校におけるマスクの着用、子どもへの影響の現状把握はしているか。町としてのガイドラインの策定は。

（答弁要旨）

- 子育て経費の負担軽減は必要だが、全てを免除という考え方は疑問。
- 子育て世代の不安や困難に支援していくため、保育料に限らずどの世代に何を支援すべきか検討する。
- 保育園のマスク着用は家庭の判断による。
- 町独自のガイドラインの作成は難しい。



須藤さん



漆戸さん

1.もみじ湖を含めた箕輪町の観光について

- ・観光戦略プランの進捗状況は。10年後、20年後もみじ湖はどのようになってほしいか。
- ・もみじ湖のもみじの分散化（各家庭への植樹や、植樹をイベントかするなど）して街中をもみじに、またもみじを利用したおみやげ商品開発を。

（答弁要旨）

- 観光商品の開発に取り組むが、目標に届かない。
- もみじ湖を観光地として整備していく考えはない。環境整備やおもてなしは必要。
- 第2景勝地の造成を考えている。来季に植栽イベントをしたい。
- 市街地でのもみじの植栽はアイデア。

2. 75歳以上高齢者の実態と課題

- ・身寄りの無い保証人や身元引受のない人の包括的支援体制は
- ・救急医療情報キットの活用、保管状況
- ・緊急通報システムの設置状況は。

（答弁要旨）

- 75歳以上の独居高齢者は500世帯を超え増加傾向。不明、絶縁状態の方の相談も増加。
- 身元引受、医療同意、財産管理などの課題。制度で出来ない場合は町が行ったり、成年後見の利用を進める。
- 医療情報キットの配布数は1113人。希望する方は申請を。
- 緊急通報システムの利用は15件。増加傾向にあり、住民へ周知する。



荻原さん

1.性的マイノリティへの配慮

- ・統計的にLGBTQは、13人に1人、人口の8%から10%と言われている。これを町の15歳以上の人口に当てはめると、約1,600人。町長はこの数字をどのように考えますか。

2.町では、少子化対策の一環として、40歳未満である、夫婦、母子、父子世帯が町内に住宅を新築又は中古住宅を取得する場合に箕輪町若者世帯定住支援奨励金を交付している。

この制度の目的が、少子化対策であることは、十分理解できますが、町内には、この対象に当てはまらないカップルが存在することが考えられます。

町の政策は、性的マイノリティの方への配慮が足りないのではないのでしょうか。



大澤さん

（答弁要旨）

- 1600人は、肌感覚的には多いと感じる。カミングアウトされる方が少なく、顕在化していないためか。
- 現行補助制度は、少子化対策である。住宅制度としての課題も。
- パートナーシップ宣言制度以前にこの問題に関する正しい理解、偏見や差別をなくすことが必要。
- 県が制度化することから、町でも制度化を含めた対応を考える必要が出てきた。